

1 学力向上について【別冊 1】

(1) 令和 4 年度の成果と課題について

① 全国学力・学習状況調査について

| 校種 | 年度 | 国語 | | | | 算数・数学 | | | |
|-----|-----|-----|----|----|-----|-------|----|----|-----|
| | | 正答率 | | | 全国比 | 正答率 | | | 全国比 |
| | | 全国 | 県 | 市 | | 全国 | 県 | 市 | |
| 小学校 | R 3 | 65 | 62 | 60 | -5 | 70 | 66 | 64 | -6 |
| | R 4 | 66 | 62 | 62 | -4 | 63 | 58 | 57 | -6 |
| | 前回比 | 1 | 0 | 2 | 1 | -7 | -8 | -7 | 0 |
| 中学校 | R 3 | 65 | 63 | 63 | -2 | 57 | 52 | 50 | -7 |
| | R 4 | 69 | 68 | 66 | -3 | 51 | 45 | 44 | -7 |
| | 前回比 | 4 | 5 | 3 | -1 | -6 | -7 | -6 | 0 |

○小中ともに国語の正答率が前回より上がった。

○小の国語は県と同じ。他は県との差は 1～2 ポイントになった。

●算数・数学については、全国との乖離に変化がなかった。

② 標準学力調査について

| 達成率を向上させた学校の割合 (4月と12月の比較) | | 国語 | 算数・数学 |
|-------------------------------|-----|-----|-------|
| | 小学校 | 64% | 41% |
| | 中学校 | 65% | 43% |

○小中ともに国語は、60%以上の学校で達成率が向上した。

●小中ともに算数・数学は、達成率が向上したのは40%程度だった。

③ 課題について

- ・算数・数学の問題において「思考・判断・表現」「記述式」が苦手(問題別正答率)
- ・ゲーム時間が長い、学習時間が短いなど、効率的な基本的な生活習慣が身に付いていない(児童生徒質問紙調査)
- ・算数の苦手は、小学校1年生が始まっている。(小1算数で達成率が全国以上だった学校の割合 39.4%)

(2) 令和 5 年度の取組

| | ポイント 1 | ポイント 2 | ポイント 3 |
|-----|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 視点 | 学習意欲の向上 | 授業改善 | 基本的な生活習慣 |
| 重点 | スモールステップで達成感 | I C T の活用と授業スタイルの確立 | 読書時間の確保とアウトプットの工夫 |
| 具体策 | ・「伸び」が分かるデータの活用 ・個に応じたタブレットドリルの活用 | ・「学び合う」授業モデルの提案 ・教科等指導員や指導主事の授業提供 | ・読書の内容の発表や要約活動 ・幼児期からの読み聞かせの啓発 ・I C T を活用した時間マネジメント力の育成 |

2 体力向上について【別冊2】

(1) 令和4年度の現状と課題について

① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

| 学年 | | 体力合計 | | | | 肥満傾向 | | |
|----|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | 全国 | 県 | 市 | 全国比 | 全国 | 市 | 全国比 |
| 小5 | 男 | 52.28 | 51.15 | 50.63 | -1.65 | 14.50 | 24.00 | 9.50 |
| | 女 | 54.31 | 53.76 | 54.00 | -0.31 | 11.40 | 15.40 | 4.00 |
| 中2 | 男 | 41.04 | 40.90 | 39.88 | -1.16 | 12.30 | 19.00 | 6.70 |
| | 女 | 47.42 | 46.47 | 45.58 | -1.84 | 7.70 | 10.00 | 2.30 |

○小学校男女ともに、長座体前屈、反復横跳びが全国平均を上回った。

○中学校男子は長座体前屈、女子は持久走が全校平均を上回った。

●小学校、中学校ともに体力合計が全国平均に達しなかった。

●小学校、中学校ともに肥満傾向が全国よりも高い。

② 課題について

- ・持久力不足の傾向が続いている。
- ・肥満傾向が全国平均より高い傾向が続いている。
- ・朝食摂取、睡眠時間、スマホ等使用時間など基本的な生活習慣が身に付いていない。
(児童生徒質問紙調査)

(2) 体力向上プランについて（10年後の姿をイメージし、5年毎前期・後期で設定）

ねらい1：積極的に体力向上に取り組む児童生徒

ねらい2：望ましい生活習慣の確立に努める児童生徒

| | ポイント1 | ポイント2 | ポイント3 |
|-------|---|--|---|
| 視点 | 体育の授業の充実と運動機会の設定 | 食や健康に関する指導・支援の充実 | 生活習慣の改善に向けた取組 |
| 重点 | I C Tを活用した授業改善 | 成長が意識できるデータの活用 | 睡眠、食事、メディア等の時間管理 |
| 具体策 | ・動画を活用して客観的に動きを見て「運動のコツ」をつかむ | ・「身体組成」(※)データの活用 ・体の仕組みと食生活についての知識を習得 | ・I C Tを活用した時間マネジメント力の育成 ・学校以外での運動機会の充実 |
| R 5年度 | 児童生徒：自分の身体・体力の現状を知る 学 校：児童生徒が主体的に運動に取り組む方法を知る 家 庭：適切な生活習慣・運動習慣を身に付ける方法を知る | | |

(※)「身体組成」については、石巻専修大学との連携し、データに基づく具体的な運動メニュー等を提案する。

3 学びサポートセンターについて【資料2】

(1) 現在の状況について

| | 5月18日現在 | | | 備考 |
|-----------------------|-----------------|----------------|---------|---|
| | 電話 | 来所 | メール | |
| 相トーク利用件数 | 4件 | 15件 | 1件 | 保護者 3 保護者・児童生徒 3 教職員 1 ※(学校訪問1件) |
| | 学校 | 家庭 | フリースクール | |
| 心リーチ利用者数 (訪問校数・回数) | 12人 (3校・週2回) | 1人 (1校・週1回) | 0 | ケース会議参加 |
| | 小学生 | 中学生 | | |
| 学ベース利用者数 | 3人 | 4人 | | 開所日は25日 |
| | | | | |

これまでの効果

- ・リーフレットの配布後電話相談が増加した。
- ・コイルのタブレットが学習指導で活用されている。

課題

- ・利用者の増加に伴い人員不足を感じる。
- ・在籍校、コイルのSSW同士の連携が必要である。

(2) 令和5年度の取組

- 「学びサポートセンター」として連携の中心となる働き
 - ・協議会を設置
 - ・フリースクールとの連携
 - ・保護者会の開催
 - ・SSWの活用

4 (仮称)石巻市幼児教育推進会議の設置について【資料3】

(1) 幼児教育の現状と課題について

① 現状について

- ・基本的な生活習慣の形成が不十分→肥満傾向、虫歯保有率
- ・就学相談件数が増加傾向にある
- ・幼稚園数が減少傾向にある。
- ・幼、保、子ども園、公、私の連携が十分ではない。
- ・在家庭幼児への働き掛けが難しい。

② 課題について

- ・小学校入学を目指した幼児教育の実施が必要
- ・基本的な生活習慣の形成には家庭の協力が必要

(2) (仮称) 石巻市幼児教育センターの開設について

① 予定

「幼児教育振興庁内連絡調整会議」 ・ 幼児教育アドバイザーの育成



「(仮称) 石巻市幼児教育推進会議」 ・ 幼児教育プラン策定



幼児教育センター設置

② 令和5年度の取組

- ・ 幼保連携研修会開催
- ・ 園児の交流
- ・ 幼児教育アドバイザー研修への派遣